

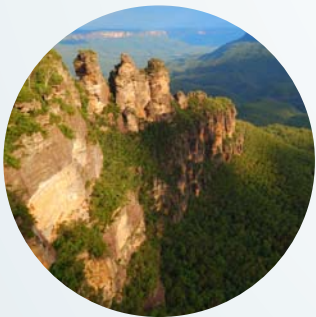
JCS レインボープロジェクト主催
東日本大震災復興支援企画



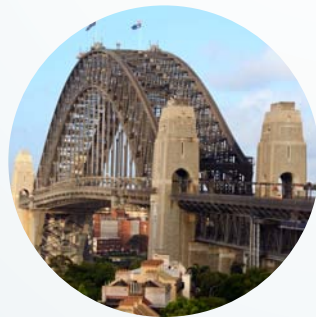
JCS Rainbow Project

シドニー保養ホームステイ 2014年夏休み第4弾開催決定!

大自然がいっぱいで空気のきれいなシドニーに、ホームステイにいらっしゃいませんか？
オーストラリア人と日本人の温かい家族が、皆さんをお待ちしています。
シドニー市内観光、現地学校交流会、先住民の伝統儀式、ビーチ観光など、アクティビ
ティー盛りだくさんの企画です。



Blue Mountains



Harbour Bridge



Bondi beach



Opera house

実施期間：2014年7月27日（日）～8月3日（日）※1～2日のずれがあることもあります

滞在先：シドニー市内のボランティアホームステイ家庭

航空会社：日本航空又はカンタス航空

参加費用：無料（日程表の記載内容、詳細は2ページ参照）

参加条件：東日本大震災による罹災証明書を、本人又は家族が保持している10歳から18歳の学生

集合場所：成田空港

添乗員：日本から付き添いが同行します

アクティビティー内容：シドニー市内観光（ボンダイビーチ、オペラハウス、
ハーバーブリッジ、ダーリングハーバー、サーキュラーキー等）、
現地学校文化交流会、先住民アボリジニの伝統芸能体験、動物園等

募集要項・参加規約

この保養プロジェクトは、シドニーレインボーステイプロジェクト（以下、当団体といいます）が、近畿日本ツーリスト（株）の協賛のもと、企画募集するものであり、参加者は当団体と参加規約を締結することになります。

旅行代金に含まれるもの

日程表に記載の往復航空券代、日程表に記載のバス代、日程表に記載のアクティビティー参加費、食費（朝、夕）、ホームステイ宿泊代、添乗員経費、オーストラリア入国ビザ。

旅行代金に含まれないもの

自宅から集合場所までの交通費、パスポート代、海外旅行保険（必須）、日程表に記載以外の交通費、食費、アクティビティー費用。

募集対象者

2011年3月の東日本大震災により被災に遭った、10歳～18歳までの学生、10名（募集人員を超えた場合は選考となります。被災程度が重度な方が優先となります。）

選考のプロセス

- ① 申込用紙に必要事項を記入の上、罹災証明書コピーと作文を添えて、2014年2月28日までに、下記住所宛に送付。
作文内容：東日本大震災を経験して感じたこと、将来に対する抱負。原稿用紙2枚程度。
- ② 2014年3月に参加者決定通知を、確定者のみ通知いたします。

募集期間

2013年11月～2014年2月28日
(増員可能な場合、予告・告知なく定員を超えて受付する場合がございます。)

参加者に対する責任及び免責事項

参加者が以下の事由により損害を受けられた場合は賠償の責任は負いません。

- 天災地変・戦乱・暴動又はこれらのために生ずる旅行日程の変更もしくは旅行の中止、官公署の命令その他当団体の関与し得ない理由により旅行継続が不可能になった時。
尚、当団体が前項の規定に基づいて募集型企画旅行契約を解除した時は当団体と旅行者との契約関係は将来に向かってのみ消滅します。この場合において旅行者が既に提供を受けた旅行サービスに関する当団体の債務については有効な弁済がなされたものとします。
- 運送・宿泊機関の事故もしくは火災又はこれらのために生ずる旅行日程の変更もしくは旅行の中止
- 日本の官公署の命令又は伝染病により隔離
- 自由行動中の事故
- 食中毒
- 盗難
- 運送機関の遅延・不通又はこれらによって生ずる旅行日程の変更もしくは目的地滞在時間の短縮

日程表

日時	日程	移動手段	宿泊先
第1日目	東北より成田空港へ移動後、空路シドニーへ	各自	機内
第2日目	朝、シドニー空港着後、半日市内観光（ボンダイビーチ、オペラハウス、ハーバーブリッジ、等）	ミニバス	ホームステイ家庭
第3日目	オーストラリアの先住民アボリジニの伝統芸能体験	自家用車	ホームステイ家庭
第4日目	現地学校にて文化交流授業	自家用車	ホームステイ家庭
第5日目	オーストラリア労働組合（CFMEU）訪問とタロンガ動物園見学	自家用車	ホームステイ家庭
第6日目	ホームステイ家族と自由行動		ホームステイ家庭
第7日目	終日自由行動後、お別れパーティー		ホームステイ家庭
第8日目	宿泊先より、シドニー空港へ移動後、空路東京へ	ミニバス	

※予告なしに日程が変更になる場合もございます。

プログラム参加者からのメッセージ

「僕は2012年夏に、シドニー・レインボー・ステイ・プロジェクトの保養ステイに参加しました。海外旅行は生まれて初めてでしたが、多くの人たちのサポートにより安心して参加できました。シドニー滞在中は新しいことをたくさん経験できました。本当に良かったです。

また遠いオーストラリアでも、たくさんの人達が福島のことを応援してくれることを知って、嬉しくなり勇気が湧いてきました。これからは英語をもっと勉強して、将来はシドニーに住みたいと思っています。そのために日本に帰ってから、英語の勉強をがんばります。自分の他にも、たくさんの人たちにこのプロジェクトに参加してもらいたいと思います。ありがとうございました！」



協賛・協力



CFMEU Mining and Energy Division



eVisa センター



puppyluckybook

バイリンガル絵本出版

近畿日本ツーリスト

近畿日本ツーリスト